



同年月日		令和 年 月 日		常務理事		事務長		部長		課長		係長		係	
支給年月日		令和 年 月 日													
支給額															
※ 支給決議書	支給内訳	法定						資格	得喪	年 月 日		認削	年 月 日		
	付加									年 月 日			年 月 日		
	初 検 料 (はり ・ きゅう ・ はりきゅう併用)							円							
	施 術 料 (はり ・ きゅう ・ はりきゅう併用)							円 × 回 = 円							
	電療料 (電気針 ・ 電気温灸器 ・ 電気光線器具)							円 × 回 = 円							
	往 療 料 (4Kmまで ・ 4Km超)							円 × 回 = 円							
	施術報告書交付料 (前回支給: 年 月分)							円 × 回 = 円							
施術料合計 円							一 部 負 担 円								

健康保険 被保険者 療 養 費 支 給 申 請 書 (はり・きゅう用)
被扶養者 療 養 付 加 金

被 保 険 者 が 記 入 す る こ ろ	㉑ 被保険者証 記号・番号		㉒ 生 年 月 日		㉓ 被保険者の (フリガナ)	
			昭和 平成 令和 年 月 日		(申請者) 氏名と印 ㉔	
	療養が被扶養者に ㉕ 氏 関する時はその方の 名		㉖ 生年 月 日		昭和 平成 令和 年 月 日 ㉗ 被保険者 との続柄	
	㉘ 被保険者の (フリガナ) (申請者) 住 所		〒 - TEL ()			
	㉙ 事 業 所 の 名 称		㉚ 事 業 所 の 所 在 地			
	㉛ 傷 病 名		㉜ 療養開始日 平・令 年 月 日			
	㉝ 発 病 の 原 因 及 び 経 過		4. 発病の原因は次のうちどれにあたりますか。 ☐ 交通事故 ・ ☐ 暴力(ケンカ) ☐ スポーツ中 (☐ 職場の行事 ・ ☐ 職場の行事以外) ☐ 動物による負傷 (飼い主 ☐ 有 ・ ☐ 無) ☐ あてはまらない 5. 「上記4」にあてはまる場合、あなたは次のうちどれにあたりますか。 ☐ 被害者 ・ ☐ 加害者 ・ ☐ 相手無 6. 発病の状況・原因を具体的に記入してください。			
	[発病日時・場所等] ※1～6は必ずご記入ください 平・令 年 月 日 (曜日) ☐ 午前 ・ ☐ 午後 時 分頃 1. 発病をした日は次のうちどれにあたりますか。 ☐ 出勤日 ・ ☐ 休日 (定休日・休暇を含む) ☐ その他 () 2. 発病をした時間帯は次のうちどれにあたりますか。 ☐ 勤務時間中 ・ ☐ 通勤途中 (☐ 出勤 ・ ☐ 退勤) ☐ 出張中 ・ ☐ 私用 ・ ☐ その他 () 3. 発病に至った場所は次のうちどれにあたりますか。 ☐ 会社内 ・ ☐ 道路上 ・ ☐ 自宅 ☐ その他 ()					
	施術を受けた ㉞ 名 称		㉟ 施術者氏名			
	施 術 所 等 ㊱ 所在地					
㊲ 施 術 期 間 (支給期間)		対象月 自 年 月 日 至 年 月 日		㊳ 施術に要した費用の額 円		
㊴ 施 術 の 内 容		㊵ 療養の給付を受ける ことができなかった理由				

令和 年 月 日提出

※ 受付日付印

事業所 担当者印

委 任 状	本請求に基づく給付金の受領方を代理人に委任します			令和	年	月	日
	①	被 保 険 者 (申 請 者)	住 所				
			氏 名				㊞

	㊞	代 理 人	住 所				
			氏 名				㊞

【記入上の注意】

1. 標題の「被保険者」「被扶養者」の文字はいずれか該当する方をマルで囲んでください。
2. 1で「被保険者」にマルをされた方は ㊞㊞㊞ の欄に“該当せず”とご記入ください。
 〃 「被扶養者」にマルをされた方は ㊞㊞㊞ の欄に必ずご記入ください。
3. 任意継続被保険者の方は ㊞ の欄 に“任意継続”とご記入ください。
4. ㊞ 「発病の原因及び経過」の欄を必ずご記入ください。
5. 「委任状」の欄は①の欄は被保険者(申請者)が、また㊞の欄は代理人(事業主)がご記入捺印ください。

【注意事項】

1. 暦月ごとに申請してください。
2. はり・きゅうの施術期間中に同一傷病に対する療養費支給と、医療機関での保険診療の併用はできません。療養費の支給には、併給の確認のほか、内容確認・審査を経て支給決定を行いますので、施術月より、3ヶ月程度かかる場合がございます。予めご了承ください。
3. この申請様式は、令和2年1月施術分の手続きから使用できます。

【添付書類について】

- 1 療養費支給申請書(施術者記入様式)
 施術者に施術内容等の証明を受けてください。
2. 領収証(原本)
 全額自己負担額の記載、患者氏名、施術日、領収印のあるものを受け取ってください。
- 3 医師の施術同意書(原本)
 初診日から6ヶ月を経過した時点で、更に施術を受ける場合は、再度、医師の診察のうえ施術同意(再同意)を受ける必要があります。また、同意期間内において2回目以降の請求については、施術同意書の添付省略または施術同意書(写し)の添付で差支えありません。
4. 施術報告書(写し)
 施術者から施術を同意した医師への施術報告書が提出されたことによる「施術報告書交付料」の算定がされている場合は、施術者が発行した当該書類の写しを確認のため添付してください。

療 養 費 支 給 申 請 書 (年 月分) (はり・きゅう用)

機関コード

公 費 負 担 者 番 号								特記事項	1 社 国 3 後高 2 公 費 4 退職	2 本外 8 高外9 4 三外 0 高外8 6 家外	給付割合						
公 費 受 給 者 番 号							8							9	10		
区 市 町 村 番 号											種類	05 鍼灸					
受 給 者 番 号								保 険 者 番 号									

被 保 険 者 欄	○被保険者証等の記号番号						○発病又は負傷年月日				○傷病名																				
							年 月 日																								
	療 養 を 受 け た 者 の 氏 名	(フリガナ)						続 柄	○発病又は負傷の原因及びその経過																						
		男 女							○業務上・外、第三者行為の有無																						
大・昭・平・令 年 月 日生						1. 業務上 2. 第三者行為である 3. その他																									
施 術 内 容 欄	初 療 年 月 日				施 術 期 間								実日数		請 求 区 分																
	平成・令和 年 月 日				自・令和 年 月 日～至・令和 年 月 日								日		新 規 ・ 継 続																
	傷病名				1. 神経痛 2. リウマチ 3. 頸腕症候群 4. 五十肩 5. 腰痛症 6. 頸椎捻挫後遺症 7. その他 ()														転 帰												
																			継続・治癒・中止・転医												
	初検料 (1 はり 2 きゅう 3 はりきゅう併用)						円														摘 要										
	施 術 料	はり						円× 回＝								円															
		きゅう						円× 回＝								円															
		はり・きゅう併用						円× 回＝								円															
		電療料 (1 電気針 2 電気温灸器 3 電気光線器具)						円× 回＝								円															
	往 療 料						4 kmまで								円× 回＝ 円																
	往 療 料						4 km超								円× 回＝ 円																
	施術報告書交付料 (前回支給： 年 月分)						円× 回＝ 円																								
	合 計						円																								
	一部負担金 (1 割 ・ 2 割 ・ 3 割)						円																								
請 求 額						円																									
施術日 通院○ 往療◎		月		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																											
施 術 証 明 欄	上記のとおり施術を行い、その費用を領収しました。										保健所登録区分				1. 施術所所在地 2. 出張専門施術者住所地																
	令和 年 月 日										施術所				所在地																
	登録記号番号 (又は申し出た施術者登録番号)										名 称				印 電話																
申 請 欄	上記の療養に要した費用に関して、療養費の支給を申請します。										〒				—																
	令和 年 月 日										申請者 (被保険者)				住所																
	東京都報道事業健康保険組合 理事長 殿										氏 名				印 電話																
同 意 記 録	同意医師の氏名				住 所				同 意 年 月 日				傷 病 名				要加療期間														
									令和 年 月 日																						

同意書			(はり・きゅう用)		
患 者	住 所				
	氏 名				
	生 年 月 日	昭・平・令	年	月	日
病 名	1. 神経痛				
	2. リウマチ				
病 名	3. 頸腕症候群				
	4. 五十肩				
病 名	5. 腰痛症				
	6. 頸椎捻挫後遺症				
病 名	7. その他()				
	※ 1～6は、当てはまるものに○をつけて下さい。 7は、慢性的な疼痛を主訴とする疾病で鍼灸の施術に同意する病名を記載下さい。				
発病年月日	昭・平・令	年	月	日	
同意区分	初回の同意 ・ 再 同 意 (○をつけて下さい)				
診 察 日	平成・令和	年	月	日	
注意事項等	施術に当たって注意すべき事項等があれば記載して下さい (任意)				
上記の者については、頭書の疾病により鍼灸の施術に同意する。					
令和 年 月 日					
保険医療機関名					
所 在 地					
保 険 医 氏 名 印					

※ 保険医が、当該疾病について診察の上で同意する必要があります。
保険医氏名は、診察した医師の氏名を記載して下さい。

1年以上・月16回以上施術継続理由・状態記入書（令和 年 月分）												
患 者		氏 名										
		生年月日		大 ・ 昭 ・ 平 ・ 令 年 月 日								
傷 病 名		1．神経痛 2．リウマチ 3．頸腕症候群 4．五十肩 5．腰痛症 6．頸椎捻挫後遺症 7．その他（ ）										
		1．はり 2．きゅう 3．はり・きゅう併用										
初療年月日		平 ・ 令 年 月 日										
施 術 回 数		月 回 （当該月の施術回数を記載）										
患者の状態の評価												
痛みの強さ	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10										評価日	平・令 年 月 日
	N R S （Numerical Rating Scale：ニュメリカル レーティング スケール）による評価											
	（注）全く痛みがない状態を「0」、自分が考え想像しうる最悪の痛みを「10」として、今感じている痛みの点数を患者に聞き、該当の点数に印をつけること。											
	前月の評価の有無 1．有り 2．無し											
	前月の状態からの改善や変化（前月の評価の有無が「有り」の場合に記入）											
	1．悪化 2．維持 3．改善小 4．改善中 5．改善大											
	(症状、経過及び初療の日から1年以上経過して、月16回以上の施術が必要な理由)											
上記のとおりであります。												
令和 年 月 日												
はり師・きゅう師氏名 _____ (印)												

施術報告書

医師 様

- 以下のとおり、施術の状況を御報告いたします。
- 本報告を御覧いただくとともに、直近の診察に基づいて、施術継続の再同意の可否について御判断いただきますようお願いいたします。

患者氏名	
患者生年月日	年 月 日
施術の内容・頻度	
患者の状態・経過	
特記すべき事項	

年 月 日

施術所名

住所

電話・FAX番号

メールアドレス

施術者氏名

往療内訳表

月分

(患者氏名 :)

日付	同一日・ 同一建物 記入欄	施術者名	往療の起点	施術した場所
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				
日				

往療を必要とする理由 介護保険の要介護度 () 分かれば記載下さい

1. 独歩による公共交通機関を使つての外出が困難
2. 認知症や視覚、内部、精神障害などにより単独での外出が困難
3. その他

()

- 注
- ・ 同上の場合は、「同上」や「〃」との記載で差し支えない。
 - ・ 同一日・同一建物記入欄には、同一日に同一建物への往療に該当する場合であつて、当該患者について往療料を算定している場合には「◎」を、算定していない場合には「○」を記入すること。
 - ・ 往療の起点については、個人宅は丁目までの記載で可とする。
 - ・ 個人情報の取り扱いには、十分ご注意ください。